

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月21日

計画の名称	石巻かわまちエリア都市再生整備計画												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	石巻市												
計画の目標	大目標：かわまち交流拠点を起点に歩いて楽しめるウォークアブルな商店街の実現 目標1：歩行者が安心して楽しく歩くことができる歩行者空間の創出 目標2：多くの市民が利用できる交流空間（パブリックスペース）の創出 目標3：官民連携による魅力ある滞留空間の創出												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	203	A	203	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和3年度	中間目標値	最終目標値 令和8年度
1	歩行者・自転車通行量の増加 都市再生整備計画区域内の歩行者・自転車の通行量 「石巻市中心市街地歩行者自転車通行量調査」結果	14835人	人	19748人
2	歩行者回遊率の増加 都市再生整備計画区域内の回遊率 (いしのまき元気いちばへ訪れる前後に中心市街地のどこかへ立ち寄る人) / (いしのまき元気いちばへ訪れた人)	36%	%	47%
3	パブリックスペースで開催されるイベント回数の増加 堤防一体空間及び北広場でのイベント回数 堤防一体空間及び北広場で開催されたイベント回数。	11回	回	45回

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	石巻市	直接	石巻市	-	-	石巻かわまちエリア都市再生整備計画事業	面積 41.6ha	石巻市						203	-		
												小計						203		
											合計						203			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	28	20	27		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	28	20	27		
前年度からの繰越額 (d)	0	5	0		
支払済額 (e)	23	25	17		
翌年度繰越額 (f)	5	0	10		
うち未契約繰越額(g)	5	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	17.85	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	他事業との調整に時間を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 石巻かわまちエリア都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

